

SBC開幕戦 逆転勝利！

某MS 5-9 SBC

平成30年4月7日、東邦スタジアムにてSBC対某MSの今季の開幕戦が行われた。

この日は強風に加え、時折小雨がばらつき、4月にしてはとても寒い日であったが、SBCメンバーの闘志は燃えていた！

5回裏SBCの攻撃時に打線が爆発！一挙5点を取り、逆転に成功した。

投げては、先発の富永が5回まで好投をし、6回からは大下、7回最終回を床島がいずれも0点に抑え、SBCの勝利となった。

らしからぬ投球 富永

「らしからぬ投球」：今回はもちろん良い意味でだ。ランナーは背負うものの1回から3回までを0点に抑えた。4回の4失点は味方のエラーと自分の送球ミスからの失点なのでなんとも言えないが、それ以外は十分過ぎる働きを見た。富永の好投が、試合を作った。いや、「勝利を手繰り寄せた」と言っても過言では無いただろう。

二刀流での活躍 大下

世間ではメジャーリーグでの二刀流の活躍がマスコミを賑わしているが、同様に投打で活躍したのが、大下だ。今回は途中出場となったが、投げては1回を無失点に抑え、打っては6回裏に満塁の場面で走者一掃のタイムリー2ベースを打ち、勝利に貢献した。

インターネットで「野球」「二刀流」と検索すれば、あのメジャーリーガーよりも先に、『大下』が検索ワードに上がる日が来る・・・かもしれない。

今回の総
喝

今回の試合の良かった点を挙げるとすれば、まず1つ目は「無駄な失点が少なかった」事だ。前回の試合ではエラーから失点する場面が目立った。しかし、今回はエラーは少なからずあったもののそれを引きずらず、失点を最小限に抑えることが出来たのが大きかった。それ故、4回の失点は悔やまれる。

2つ目は、出塁率の高さだ。左下の表を見ても分かる通り、全員が出塁している。風が強かった為、ラッキーな形で出塁した分もあるが、全員がランナーに出て、「得点するぞ！」というプレッシャーを相手に掛けたことが試合後半の大量得点に結びついたと思われる。あえて言うなら、試合序盤で得点が欲しかった所だ。

次回の試合は未定だが、今回の結果に満足せず、メンバーにはそれぞれの良かった点・悪かった点を見つめ直して欲しい。



打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	左	西田(宏)	4	1	1	1	2
2	二	日高	4	2	2	0	2
3	捕	押川	4	1	0	0	1
4	遊	石神	4	1	0	0	1
5	中	床島	4	1	0	1	2
6	三	(助っ人)	4	1	0	1	2
7	一	木原	2	1	0	0	1
8	中	富永	4	1	2	1	2
9	右	落合	2	1	0	0	1
		外林	2	0	0	1	1
		大下	2	2	4	0	2

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
某MS	0	0	0	4	1	0	0	5
SBC	0	0	0	1	5	3	1	9

[投手成績]

* 富永⇒大下⇒床島

氏名	投球回	奪三振	失点
富永	5回	1	5
大下	1回	0	0
床島	1回	1	0

【☆マネージャー大・大・大募集中☆】
○仕事内容
試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載
* 野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。